

DAIDO UNIVERSITY NEWS

DAIDO

CAMPUS

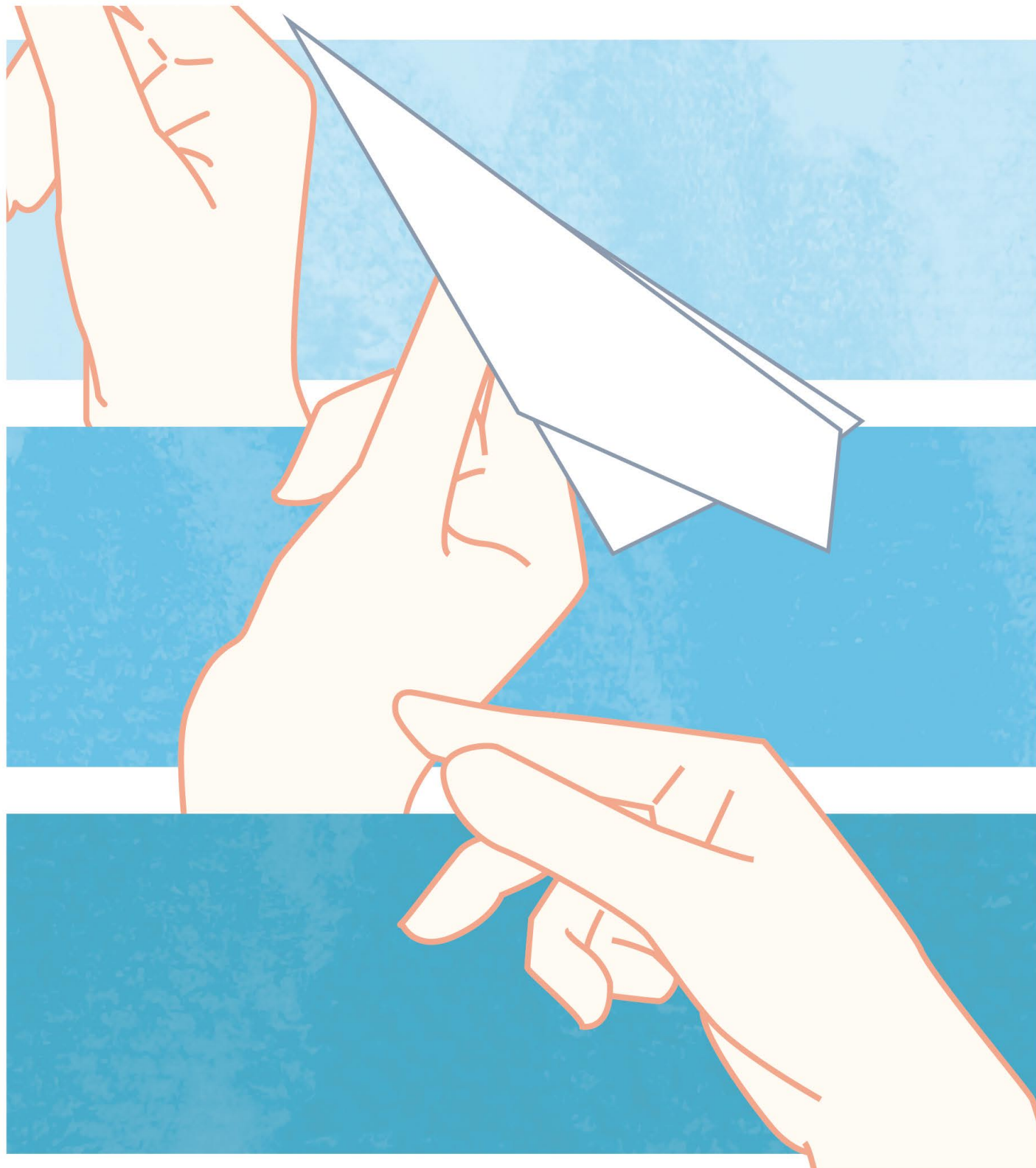
ISSUE

110

2024年
7月発行

特集

学長コラム～私の音楽遍歴～ほか



2024年度入学式を挙行了しました

告 辞

大同大学に入学された皆さん、大学院に入学された皆さん、入学おめでとうございます。

また、これまでお子様を支えてこられたご家族や保護者の皆さんに心よりお祝い申し上げます。さらに、本日の佳日を祝うためにご臨席賜りました、ご来賓の皆様にも心より御礼申し上げます。本日、このように関係の方々が一堂に会して新入生をお迎えし、お祝いできることはとても有り難く、そしてとても嬉しく思います。

大同大学および大学院に入学された皆さんは今、初めての環境で不安もあると思いますが、それを上回る大きな夢や希望を抱き、ワクワクしていることと思います。入学したら、やってみよう、挑戦してみようと思っていることが、たくさんあると思います。ぜひ実行してください。興味を持ったことを深く掘り下げてもいいですし、資格取得に挑戦してもいい、クラブ活動に熱中してもいい、本をたくさん読んでもいいですし、映画をたくさん見てもいい。やりたいことは人それぞれです。人と違っても構いません。まず一歩を踏み出して下さい。

私の学生時代の話をします。私は建築が専門で、学部生の頃は図面を描くことが好きでした。高松伸という建築家のドローイングに憧れ、9Hから9Bまで鉛筆を揃え、何時間も図面を描いていました。大学院生の頃は、建築の設計コンペに明け暮れ、11のコンペに応募しましたが、結果は思い描くようなものではありませんでした。それでも、様々なアイデアを出し、それを形にする苦しさとしさは、今でも忘れません。

そのうち、研究が楽しくなりました。私の研究テーマは炬燵です。初めて学会で発表した時は、なんで炬燵なんかを研究するの?と、会場で笑われました。しかし、めげずに、大真面目に炬燵を研究し続け、何度も研究発表するうちに、次第に認めていただけるようになり、論文も採択されました。今では、炬燵に関することであれば、まず私のところに連絡が来るようになりました。何でも情熱を持ってやり続けることの大切さを痛切に感じています。まだまだ話したいことはたくさんあります。この続きは、学部の新入生の皆さんには、学長講演でお話したいと思います。

このように私の人生は、回り道や寄り道、挫折や失敗がたくさんありましたが、それらを全部含めて私の人生です。これらの経験があるからこそ、今の自分があると思っています。人生に無駄なことなど1つありません。ぜひ皆さん、色々なことに挑戦してください。やるかやらないか迷ったら、やる方を選択して下さい。

どんなものでも、自分がやろうと思ったことを実行し、達成できれば、それは大きな自信になります。失敗しても、上手くいかなくても構いません。失敗したら、皆さんは貴重な経験を得ることができます。そして、失敗から立ち直ることもぜひ学んで欲しいと思います。

また、ゴールに最短で到達する必要はありません。寄り道や回り道をしても構いません。道草をすると色々な発見があって楽しいものです。このように、失敗したり、試行錯誤したりできるのが、大学の学びの醍醐味だと思います。

もう1つ皆さんに伝えたいことがあります。私は、大学は出会いの場であると考えています。ぜひ、信頼できる友達と出会って下さい。学生時代の友達は一生の友達になります。また、自分を導いてくださる尊敬できる先生と出会って下さい。恩師がいると人生が豊かになります。

出会いは人だけではありません。自分の力を試すことができるチャンスと出会って下さい。真剣勝負できる場は皆さんを飛躍的に成長させます。そして、ワクワクする学問と出会って下さい。待っているだけでは出会えないかもしれません。少しの勇気を持って一歩を踏み出して下さい。

大同大学は2030年までに本学の目指す目標を「DAIDO VISION 2030」としてまとめました。DAIDO VISIONの「合い言葉」は「自分が変わる、未来を変える」です。自分が変わることで、自分の未来を変えてください。自分が変わることで、これからの社会の未来を変えてください。自分を変えることができるのは、自分しかいません。

さあ、今日から、新しい一歩を踏み出し、自分を変えていきましょう。皆さんが大同大学で、多くの人や物事と出会い、自分を変え、様々な経験を積み、成長されることを心から願っています。私たち教職員と在学生は、皆さんを心から歓迎いたします。

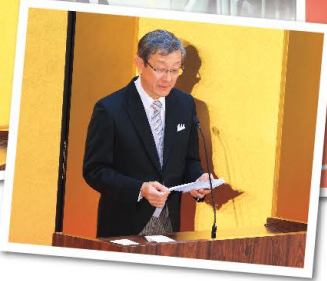
本日は誠にありがとうございます。

二〇二四年 四月 一日

大同大学長 渡邊 慎一

2024年度

大同大学入学式



2023年度 学位記授与式を挙行了しました

告 辞

学部卒業の皆さん、卒業おめでとうございます。
大学院および委託生の皆さん、修了おめでとうございます。

卒業の喜びは、皆さん一人ひとりの努力の賜物ですが、ご家族や保護者の皆様をはじめ、周囲の方々の温かい支援の賜物でもあり、関係の皆様に、心からお祝い申し上げます。

また、本日の佳き日を祝うためにご臨席賜りました、ご来賓の皆様により御礼を申し上げます。

大同大学は皆さんを加えて、学部は32,935名の卒業生、大学院研究科は1,168名の修了生を社会に送り出したことになります。本学の卒業生・修了生は東海地方を中心に全国で活躍しています。皆さんも大同大学の卒業生・修了生として、自信を持って、社会や大学院で大いに活躍してください。

学部生の皆さんが本学に入学された4年前、新型コロナウイルスが世界中に広がり、入学式も開催できず、大学に通うことも制限され、授業は遠隔で受けるという異常事態でした。その後も3年間、コロナ禍に振り回されながら、大学生活が続き、ようやく昨年のGW開けにコロナの扱いが5類に移行され、大学の日常が戻ってきました。

みんなと一緒に教室で授業を受け、気の合う仲間と学食でランチを食べ、クラブ活動に熱中し、資格取得に挑戦し、そして卒業研究に夢中に取り組むことができるようになりました。これらはコロナ前には当たり前だったことばかりです。皆さんは、当たり前前の方が、当たり前前ができる有り難さを、誰よりも強く感じていることと思います。

そんな困難を乗り越えて、本日、皆さんは卒業します。

私は、皆さんがコロナ禍であっても、真摯に勉強に取り組んだことを知っています。苦しい状況でも情熱を持ってクラブ活動に取り組んだことを知っています。お互い切磋琢磨して素晴

しい卒業論文・卒業制作・修士論文を成し遂げたことを知っています。皆さんは最もコロナ禍に影響を受けた世代ですが、コロナなんかに負けないことを明確に証明してくれた世代でもあります。

そんな皆さんを支えてくれたのは、まさしくご家族や保護者の方々です。お子様が大同大学に入学し、晴れやかな思いをするはずだったのに、入学式が中止となり、お子様の通学を見送ることもできず、家で一人コンピュータに向かって勉強する姿を見守るしかなかったのです。どれほど不安だったでしょう、どれほど心配だったでしょう、想像に余りあります。そのような状況にも関わらず、本学をずっと信頼してくださいました。そして本日、この式典にご出席くださり、立派に成長したお子様の卒業・修了と一緒に祝いできることは、とても有り難いことであり、これまでお子様を支えてこられた皆さまのご努力に対し、心より敬意を表します。

大同大学は今年で創立60周年という節目の年を迎えます。大同大学を作った大同製鋼(現在の大同特殊鋼です)のルーツをたどると、大同電力に行き着きます。大同電力の初代社長は、後に日本の電力王と呼ばれた福澤桃介です。大同電力は後に中部電力と関西電力になりました。桃介は福澤諭吉の娘婿で、多くの企業の設立に参画し、特に木曾川の水力発電の開発に情熱を注ぎました。今日の式典の最後に演奏される大学の歌、学歌の最初に「木曾の流れは長くして電力を産み製鋼と学校起こる」と歌われています。彼の情熱からこの大同大学は出発しているのです。

情熱という言葉で、最近、感動したフレーズがあります。昨年の大学祭に出演してくださったロックバンド「トータルファット」さんが、後夜祭のステージで叫んでいた言葉です。「熱い人になれば、熱い人に出会える」というメッセージです。情熱

を持って一生懸命に物事に取り組み、同じように情熱を持って頑張っている凄人に出会える。そして、お互いに刺激合って、さらに良いもの、面白いものができる、と私は理解しました。

皆さんは大同大学で、情熱を持って取り組めるものが見つかったでしょうか？熱中できるもの、好きで好きでたまらないものが見つかったでしょうか？好きなことをやっていると楽しいです。時間もあっという間に過ぎてしまいます。既に見つかった人は、これから熱中し続けてください。まだ見つからない人は、これから、仕事の中で、あるいは趣味の活動の中で、ぜひ見つけてください。

メラメラ燃え上がるような熱さあれば、じわじわと熱くなる低温発酵もあるでしょう。熱くなり方は人それぞれですが、熱くなれるものがあれば、人生は楽しく、よりエキサイティングになります。ぜひ皆さん、熱い人になって、それぞれの道を極め、世界に羽ばたいて下さい。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。

最後に私の経験からお伝えします。同じ時間と空間を共有し、苦楽を共にした学生時代の友達は、一生の友達になります。これは大きな財産です。どうぞ友達を大切にしてください。また、いつまでも皆さんを優しく見守ってくれるご家族も大切にしてください。そして、自分自身も大切にしてください。健康に気をつけ、困難を笑って乗り越え、ワクワクする人生を送られることを願い、告辞とします。

二〇二四年 三月 二二日

大同大学長 渡邊 慎一



2023年度 学位記授与式 学長賞表彰

学長賞(学業)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械工学科	細川 裕斗	高森 秀夫
	岩間 のあ	坪井 涼
機械システム工学科	河合 優典	溝口 正信
	田中 駿吏	橋口 宏衛
建築専攻	石黒 芽里	武藤 隆
インテリアデザイン専攻	野嶋 勇佑	宇野 亨
土木・環境専攻	日比野 海晴	棚橋 秀行
かおりデザイン専攻	山内 美咲	光田 恵
情報システム学科	佐藤 若菜	不破 勝彦
	平松 彰馬	芋野 美紗子
情報デザイン学科	川口 莉生	原田 昌明
	勝 航士	舟橋 慶祐
経営情報コース	河邊 雄太	藤井 浩明

学長賞(課外活動)

所属	氏名	顧問等
男子ハンドボール部	村藤 空吾	佐藤 丈一郎

学長賞(研究活動)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械システム工学科	植貫 真大	大嶋 和彦
かおりデザイン専攻	近江 陽向	光田 恵
	松井 洋樹	舟橋 慶祐
情報デザイン学科	瀬木 聖	岡田 心
	杉田 大晟	

学長賞(大学院)

専攻	氏名	指導教員
機械工学専攻(機械工学)	山田 徹	前田 安郭
機械工学専攻(機械システム工学)	神戸 駿斗	篠原 主典
電気・電子工学専攻	柴山 欣大	加納 善明
	森下 大成	米澤 隆
建築学専攻	中島 将吾	船橋 仁奈
	村上 渥一	樋口 恵一
都市環境デザイン専攻(土木・環境)	北川 舞	光田 恵
都市環境デザイン専攻(かおりデザイン)	グエン コン カン	不破 勝彦
情報学専攻(情報システム)		
情報学専攻(情報デザイン)	若園 康行	佐々木 勝彦

学長賞(顕著な功績)

学科・専攻	氏名	指導教員
機械システム工学科	白山 太一	田中 淑晴

学会賞(学部)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 畠山賞	近藤 史崇	前田 安郭
	浦口 拓也	坪井 涼
	河合 優典	溝口 正信
	田中 駿吏	橋口 宏衛
日本設計工学会 武藤賞	若尾 俊吾	宮本 潤示
精密工学会 東海支部 学生優秀賞	福富 友哉	田中 浩司
	津田 真吾	宮本 潤示

学会賞(大学院)

学会・賞名	氏名	指導教員
日本機械学会 三浦賞	安藤 大貴	西脇 武志
	鈴木 誠	尾形 和哉
日本設計工学会 武藤栄次賞	大谷 友希	西脇 武志
自動車技術会 大学院研究奨励賞	西館 光紀	高田 健
日本鋳造工学会 奨励賞	山田 徹	前田 安郭
軽金属学会 希望の星賞	西館 光紀	高田 健

榎貫真大さん(機械システム工学科)

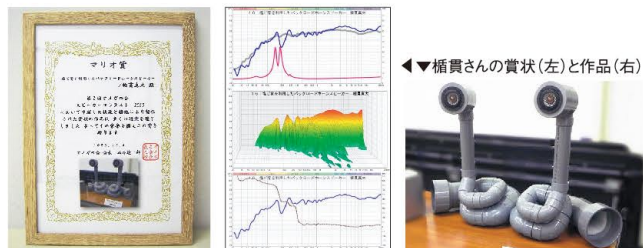
スピーカーコンテストで受賞しました

2023年10月8日(日)、広島のアナログオーディオサークル・オメガの会が主催するスピーカーコンテストに工学部 機械システム工学科 4年 榎貫真大さんが参加し、マリオ賞を受賞しました。音楽之友社が主催するコンテストが正規の形で実施されない中、唯一の全国規模のコンテストで、グランプリ以外にも4つの部門があります。コンテストのレギュレーションは「100サイズの段ボールにスピーカー 1組が入ること」で、榎貫さんはスピーカーユニットの後ろ側から出た音をホルンやトランペットのように徐々に広がる管に導いて低音を補強するバックロードホーンという方式のスピーカーを、塩ビ管の部品をつなぎ合わせることで製作しました。コンテストでは試聴による音質だけでなく、種々の音響特性も計測し、作品のコンセプトやデザインも評価されます。

また、受賞にあたっては選考委員の方から、「●サイズが大きくなりがちなバックロードホーンを卓上サイズまで縮め、コンテストの制限サイズに収めた。●塩ビ管の響きを抑えてホーンの特徴を出した。●ホーンの拡がりはよく計算されているようで高音から低音まで目立ったピーク、ディップもなく鳴らしている。」とのコメントをいただきました。この成果は、2024年1月に日本機械学会の「技術と社会部門」にてWEB上で紹介されました。さらに、3月には同学会東海支部の第55回学生卒業研究発表講演会で発表を行いました。

日本機械学会WEB

https://www.jsme.or.jp/tsd/craftwork/vol_02/index.html



◀▼榎貫さんの賞状(左)と作品(右)

板倉風雅さん、出口大成さん
(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

粒子法国際会議PARTICLES 2023で研究発表を行いました

2023年10月9日(月)~11日(水)、イタリア・ミラノで粒子法国際会議 PARTICLES 2023が開催されました。この国際会議で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 1年 板倉風雅さん、出口大成さんが共同研究で開発した粒子法鋳造解析ソフトCOLMINA CAEを使った研究結果を発表しました。2人とも「初めての国際学会で緊張したが、大変貴重な経験ができた」と話していました。発表したテーマは下記の通りです。

◆板倉さんのテーマ

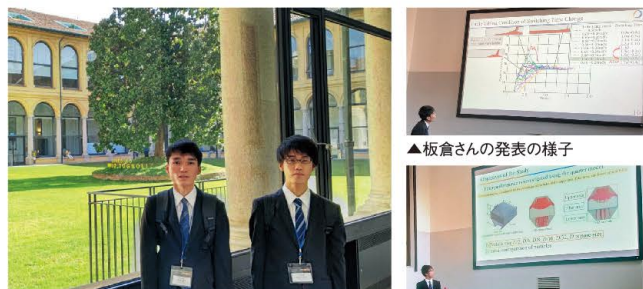
「Examination of Variable Tilting Speed on Flow Behaviour during Ladle Pouring in Die Casting Using SPH Simulation」

◆出口さんのテーマ

「Particle-based Flow Simulation of Molten Aluminum Alloy Through Casting Filters」

PARTICLES2023のHPはこちら

<https://particles2023.cimne.com/>



▲発表を行った2人

▲板倉さんの発表の様子

▲出口さんの発表の様子

知野見仁紀さん、鳥越翔真さん、中嶋洋介さん
(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

材料フォーラムTOKAIで発表を行いました

2023年11月6日(月)、日本金属学会、鉄鋼協会、軽金属学会の3学会が主催する材料フォーラムTOKAIが名古屋工業大学で開催されました。このフォーラムは、材料系学生がポスターセッションで各自の研究の発表と討議を行い、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 高田研究室 1年 知野見仁紀さん、鳥越翔真さん、中嶋洋介さんが発表を行いました。

発表内容は以下の通りです。

◆知野見さんのテーマ

「パラジウム中水素の存在状態が電気抵抗率・温度へおおよす影響」

◆鳥越さんのテーマ

「Al-Mg-Si合金における析出現象と加工硬化挙動」

◆中嶋さんのテーマ

「画像解析を用いたアルミニウム中の転位セル形成機構の調査」

都築佑翔さん、小原拓夢さん、鳥越翔真さん、西館光紀さん、水野和也さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

軽金属学会で発表を行いました

2023年11月10日(金)、11日(土)、東京都立大学の南大沢キャンパスで軽金属学会秋期大会が開催されました。この大会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 高田研究室 1年 都築佑翔さん、小原拓夢さん、鳥越翔真さん、2年 西館光紀さん、水野和也さんの5名が発表を行いました。

発表者とタイトルは以下の通りです。

◆都築さんのタイトル

「Al-Mg-Si合金における予備時効の硬化挙動への影響」

◆小原さんのタイトル

「Al-Mg-Si合金における時効条件の等温析出への影響」

◆鳥越さんのタイトル

「等温時効熱処理を施したAl-Mg-Si合金における加工挙動調査」

◆西館さんのタイトル

「Al-Mg合金におけるセレーションと電気抵抗率変動の対応関係」

◆水野さんのタイトル

「DSC測定による等温時効を施したAl-Mg-Si合金の析出挙動の調査」



▲発表を行った5人

児玉勇樹さん(大学院修士課程 工学研究科 機械工学専攻)、福富友哉さん(機械工学科)

熱処理国際会議 28th IFHTESでポスター発表を行いました



▲ポスター発表の様子

コロナ禍で延期されていた熱処理国際会議 IFHTES in Yokohamaが開催され、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 修了生 児玉勇樹さん(現:大同分析リサーチ)、工学部 機械工学科 田中研究室 4年 福富友哉さんがポスター発表を行いました。内容は、工具鋼の積層造形における熱影響を再現した実験により、ミクロ組織の連続的な変化を解明したもので、金型に必要な硬さを確保するための材料学的知見を与えました。

発表タイトルは以下の通りです。

「Change in Hardness and Microstructure during Cumulative Heating of Tool Steel H13」

辻篤志さん、渡邊静さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻) 日本金属学会東海支部材料フォーラム TOKAIでポスター発表を行いました

東海地方の学生を対象とした金属学会東海支部の材料フォーラムTOKAIが開催され、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 田中研究室 1年 辻篤志さん、渡邊静さんがポスター発表を行いました。

ポスターの掲載はこちら

<https://www.daido-it.ac.jp/~koutnk/diary.html>



山田徹さん、出口大成さん、前田安郭教授(大学院 工学研究科 機械工学専攻) The 16th Asian Foundry Congressで研究発表を行いました

2023年12月1日(金)～4日(月)、The 16th Asian Foundry Congressが北海道の室蘭で開催され、工学部 機械工学科 前田安郭教授と、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 前田研究室 2年 山田徹さん、1年 出口大成さんが研究発表を行いました。

発表した研究テーマは下記のとおりです。

◆山田さんのテーマ

「Injection Speed and Wave Behavior during Plunger Advancing in Aluminum Alloy Die Casting」



▲山田さんの発表の様子

◆出口さんのテーマ

「Boundary Condition and Fluidity in Mold Filling of Aluminum Alloy」



▲発表を行った出口さん

◆前田安郭教授のテーマ

「Dynamic Compacting Analysis of Green Sand Test-piece by Various Squeeze Conditions using Cooper-Eaton's Equation」

安藤大貴さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻) 第74回塑性加工連合講演会で 学会発表しました

2023年11月17日(金)、富山国際会議場で行われた第74回塑性加工連合講演会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 2年 安藤大貴さんが学会発表を行いました。講演タイトルは「砂時計型試験片を用いて同定した異方性降伏関数の精度評価」です。

村藤空吾さん(総合情報学科 スポーツ情報コース)(男子ハンドボール部) 大同特殊鋼フェニックスの内定選手 として日本選手権に出場しました

2023年12月13日(水)から仙台市で開催されたハンドボール第75回日本選手権大会に、情報学部 総合情報学科 スポーツ情報コース 4年 男子ハンドボール部 村藤空吾さんが、大同特殊鋼フェニックスの内定選手として出場しました。村藤さんは、東海地区屈指のシューターとして、2022年の全日本インカレ3位入賞に大きく貢献するなど、チームの主力選手として活躍してきました。その活躍が認められ、国内トップチームのひとつであり、卒業生も多く所属する大同特殊鋼フェニックスへの登録が決まりました。日本選手権の試合はYouTubeで配信されており、下記URLから視聴可能です。村藤選手、大同特殊鋼フェニックスの活躍をぜひ応援してください。

https://www.handball.or.jp/game/2023/nihon_senshukun_m_schedule.html

関連記事はこちら: [富山県出身のハンドボーラーとして
youtube!に取り上げられました/村藤空吾さん](https://www.daido-news.jp/du_news/student/3825.html)

https://www.daido-news.jp/du_news/student/3825.html



日下部和哉さん、岡本歩睦さん、鈴木遼さん(建築学科 建築専攻) 「第5回 建築系愛知14大学共同企画展 2023」で優秀賞を受賞しました!

2023年12月9日(土)、「第5回 建築系愛知14大学共同企画展 合同講評会」が開催され、建築学部 建築学科 建築専攻 米澤研究室 4年 日下部和哉さん、同専攻 武藤研究室 4年 岡本歩睦さん、同専攻 船橋研究室 4年 鈴木遼さんの共同設計作品「傷と言う場所—文脈の抽出と増幅—」が優秀賞を受賞しました。建築系愛知14大学共同企画展 合同講評会は、愛知県内の建築系14大学の設計課題において優秀な成績を修めた作品が一同に介し、各大学の教員が合同で講評会を行う企画です。

日下部さん、岡本さん、鈴木さんは、3年後期に取り組んだ「C-Scape2022: ワーキングスペースを併設した高齢者向けの複合施設」という課題に対し、イタリアの社会的背景や計画地の文脈を丁寧に読み取り、新たな生活共同体を創出するための建築提案を行いました。この企画展では、12月5日(火)～22日(金)まで名古屋造形大学で愛知県内建築系14大学の学生の、建築・まちづくりに関する作品が展示されました。

建築系愛知14大学共同企画展についてはこちら

[https://www.arc-navi.shikaku.co.jp/post/wp-content/uploads/2023/10/\[2\]2023共同企画展フライヤー.pdf](https://www.arc-navi.shikaku.co.jp/post/wp-content/uploads/2023/10/[2]2023共同企画展フライヤー.pdf)



▲優秀賞を受賞した日下部さん、岡本さん、鈴木さんの作品「傷と言う場所—文脈の抽出と増幅—」

直井和希さん(大学院 工学研究科 建築学専攻)、横尾亮人さん、今泉祭里さん、鈴木遼さん、竹内もも香さん(建築学科 建築専攻)、彦坂誠也さん(建築学科 インテリアデザイン専攻)

「2023年度日本建築学会設計競技 『環境と建築』」で支部入選を果たしました

「2023年度日本建築学会設計競技『環境と建築』」で、大学院 工学研究科 修士課程 建築学専攻 2年 直井和希さん、建築学部 建築学科 建築専攻 4年 横尾亮人さん、今泉祭里さんの共同作品「取り合う暮らし—集落の築きを手懸かりにした小さな景の再編—」が四国支部入選を果たしました。また、建築学部 建築学科 建築専攻 4年 鈴木遼さん、竹内もも香さん、同学科 インテリアデザイン専攻 4年 彦坂誠也さんの共同作品「智慧の織成—公界における10年の過ごし方—」が、東海支部入選を果たしました。建築学科 船橋研究室ではゼミ生全員が5つのチームに分かれ、「環境と建築」という課題に取り組み、うち2チームが支部入選となりました。

「日本建築学会設計競技」の歴史は長く、1952年より日本建築学会会員の設計技能練磨を目的として毎年開催されています。これまで、建築業界の第一線で活躍する建築家が多数入選してきたこともあり、建築家を目指す若い会員や学生の登竜門として高い評価を得ているコンペ事業です。

上記支部入選作品は『日本建築学会設計競技優秀作品集』(技報堂出版)に収録され、2024年1月12日に刊行されました。是非ご覧ください。

2023年度日本建築学会設計競技



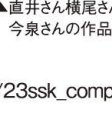
課題はこちら

https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2023/23ssk_compe.pdf

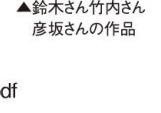


入選作品はこちら

<https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2023/aijcompe2023.pdf>



▲直井さん横尾さん
今泉さんの作品



▲鈴木さん竹内さん
彦坂さんの作品



優秀作品集はこちら

<https://gihodobooks.ssi-serve.jp/book/2646-3.html>

立松壮真さん(総合情報学科)

研究成果の発表を行いました



▲報告する立松さんの様子

2023年12月23日(土)、名古屋大学野依記念学術交流館で「第14回社会情報学会中部支部研究会・第9回芸術科学会中部支部研究会・第12回情報文化学会中部支部研究会合同研究会」が開催されました。この研究会で、情報学部 総合情報学科 中村研究室 4年 立松壮真さんが参加し、「災害時の水の確保とICTを活用した情報提供」に関する研究成果を発表しました。

発表の中で立松さんは、災害時の水の確保が災害対策において重要な課題である点に触れ、ICTを活用することで被災者への情報提供を効率的かつ効果的に行うことができると述べました。具体的には、給水栓や給水車の位置や残水量などの情報をスマートフォンやタブレットなどのデバイスで確認できるようにするシステムの構築を提案しました。また、人工知能(AI)を活用して被災者のニーズを把握し、それに応じた情報を提供するシステムについても検討しました。この研究報告について、コメンテーターの金城学院大学 国際情報学部 後藤昌人准教授からも災害時の水確保という着眼点に注目したコメントをいただきました。

研究会プログラムはこちら

<https://ssicj.main.jp/wp-content/uploads/2023/12/d5a0b72abd6d46ec84d4645884f57c8f.pdf>



松村修一朗さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

JAXA宇宙輸送シンポジウムで研究発表しました

1月18日(木)、19日(金)、神奈川県相模原市のJAXA宇宙科学研究本部で宇宙輸送シンポジウムが開催され、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 白石研究室 1年 松村修一朗さんが口頭発表を行いました。題目は「二原子分子気体を伝播するLSDの周期的レーザー照射強度変化に対する数値流体解析」です。レーザー宇宙エンジンにおいて、水素を推進剤にする場合の利点と欠点についての有益な議論が交わされました。

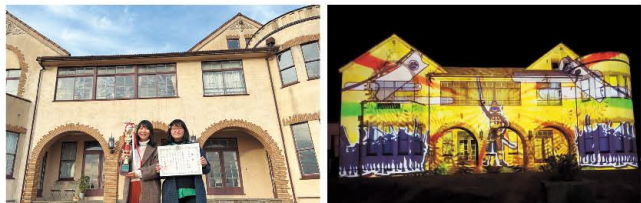


▲松村さんの発表の様子

川口莉生さん(情報デザイン学科)

プロジェクションマッピングコンペティションで岡崎市長賞を受賞しました

2023年12月1日(金)、2日(土)、旧本多忠次邸でプロジェクションマッピングコンペティション「Gomangoku of Light」が開催され、情報学部 情報デザイン学科 原田研究室 4年 川口莉生さんと、名古屋造形大学 造形学部 造形学科 映像文学領域 1年 川口紗矢さんのチームが制作した映像「家康公の衣替え」が岡崎市長賞を受賞しました。



▲受賞した川口莉生さん(左)、川口紗矢さん(右) ▲上映された映像「家康公の衣替え」

田村文乃さん、神戸駿斗さん、深谷明広さん
(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2024で研究発表しました

3月5日(火)、6日(水)に開催された日本機械学会東海支部第73期総会・講演会(TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2024)で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 篠原研究室 2年 神戸駿斗さん、深谷明広さん、同専攻 1年 田村文乃さんによる3つの研究発表が行われました。これらの研究から、機械学会では機械工学から伝統工芸まで様々な分野で進歩が見られ、技術の発展に向けた新たな知見が得られました。聴講者からは、これらの研究が産業や社会に与える貢献に期待が寄せられました。

発表した研究テーマは下記のとおりです。

◆神戸さんのテーマ

「空中ブランコロボットに生じる慣性力考慮の必要性」

◆田村さんのテーマ

「再現性向上を目指した紙製空中ブランコロボットの開発」

◆深谷さんのテーマ

「有松・鳴海絞りにおける染色条件と染色性に関する研究」



▲発表の様子(左から)神戸さん、田村さん、深谷さん

石川千馬さん、片岡京介さん(機械システム工学科)

「有松鳴海絞りロボットにおける樹脂キャップ反転装置の開発」について学会発表しました

3月4日(月)に開催された日本機械学会東海学生会の第55回学生卒業研究発表講演会で、工学部 機械システム工学科 篠原研究室 4年 石川千馬さん、片岡京介さんが「有松鳴海絞りロボットにおける樹脂キャップ反転装置の開発」と題して発表しました。

このプロジェクトは、職人でない人でも絞りロボットを扱えるようにすることを目指しており、特に注目されたのはカムやギヤを用いた反転装置の開発です。反転装置が樹脂キャップを72%の確率で反転できることが示され、制御の簡略化と機能性向上が図られました。ただし、モータの回転や振動による不具合、および3Dプリンタで製作された部分の歪みやずれが課題となっています。絞りロボット全体の構造は、キャップタンク、樹脂キャップ搬送装置、樹脂キャップ反転装置、括り装置の4つで構成され、主にA5052、PLA、TPUの材料が使用されました。これらの部品は3Dプリンタを使用して製作され、寸法は縦400mm、横230mm、高さ300mmで重量は5.7kgです。反転装置の特徴として、カム機構とラック&ピニオンを使用し、樹脂キャップの内径差を利用して反転する仕組みが採用されました。また、樹脂キャップの装填や検知に関する検証結果も含まれており、特に距離センサを用いてキャップの有無を判別する手法についても言及されました。発表者らはさらなる改善点として、金属製部品の導入や位置合わせの精度向上が必要であると指摘しています。結言では、樹脂キャップ反転装置の性能と課題が総括されており、今後の展望として金属部品の利用や位置合わせの向上が必要とされています。このプロジェクトの成果は、機械学会における技術の進展を示すものであり、今後の研究や開発に期待が寄せられています。



▲石川さん、片岡さんの発表の様子

松岡和輝さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

JR総研で講演!

2月28日(水)、東京都分寺市の鉄道総合技術研究所(JR総研)で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 白石研究室 松岡和輝さんが「超音波振動源の複数化による浮き上がり火災の燃焼持続時間に与える影響」というタイトルで40分の長時間講演を単独でやり切りました。環境に優しい燃焼を目指して自身で立ち上げたテーマについての発表だけあり、15分以上に亘る質疑応答も松岡さんの熱弁で大舞台を賑わせていました。



▲松岡さんの発表の様子

堀野秀太さん、清水裕一朗さん、末房惟人さん
(情報システム学科)第6回東海地区音声関連研究室
卒業論文中間発表会にて
優秀発表賞を受賞しました

2023年12月9日(土)、中部大学で開催された第6回東海地区音声関連研究室卒業論文中間発表会で、情報学部 情報システム学科 柘植研究室 4年 堀野秀太さん、宮島研究室 4年 清水裕一朗さん、末房惟人さんが優秀発表賞を受賞しました。堀野さんは「楽曲の色付けシステムの開発」、清水さんと末房さんは「周辺車両と歩行者の物体検出を用いた道路状況のヒートマップ生成」に関する研究について発表しました。発表会は3年ぶりに対面で行われ、



▲堀野さん

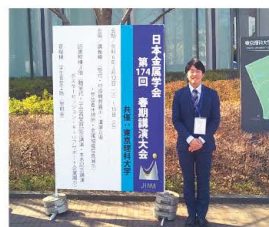
▲末房さん(左)、清水さん(右)

愛知工業大学、愛知県立大学、愛知工科大学、中部大学、名城大学、大同大学の卒研生64名が合同で研究発表を行いました。来年度は名城大学にて開催される予定です。

辻篤志さん(大学院 工学研究科 機械工学専攻)

日本金属学会第174回講演大会で
研究発表しました

3月13日(水)～15日(金)に開催された日本金属学会第174回講演大会で、大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 田中研究室 辻篤志さんが修士研究の発表を行いました。タイトルは「Cu/Cu-Ni/Cu複合抵抗材のレーザ造形と電気特性」で、付加製造・積層造形/新規プロセスというセッションで発表しました。辻さんはワイヤ供給式レーザ3D造形機を用いて、Cu-Ni合金線を直接肉盛りした複合抵抗材の作製にチャレンジしました。Cu-Ni合金はNi濃度によって電気特性が大きく変化するため、溶融させて接合すると所定の抵抗値が得られません。そこでレーザのエネルギー密度を最適化し、溶着界面のNi拡散状態を制御すれば、Cu/Cu-Ni/Cu複合抵抗材の抵抗値と温度係数が理論通りに設計できることを示しました。



▲発表を行った辻さん

日本金属学会のHPはこちら

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jimm2024spring/subject/4J13-20-06/tables?cryptold=>

木村日菜美さん、杉明香里さん、中川陽由さん
(情報デザイン学科)「令和5年度デザインパテ
ントコンテスト」で優秀賞を受賞しました!

文部科学省・特許庁・日本弁理士会などが主催する「令和5年度デザインパテントコンテスト」で、情報学部 情報デザイン学科 3Dデザイン分野 舟橋研究室 3年 木村日菜美さん、杉明香里さん、中川陽由さんが優秀賞を受賞しました!



▲(左から)受賞した木村さん、杉さん、中川さん、同学科 岡田研究室 3年 中川陽由さんが優秀賞を受賞しました!

今年度は622件の応募があり、見事32件の入賞者に選ばれました。出品したのは「情報デザイン基礎実習D(担当:佐々木勝史教授・吉田充宏非常勤講師)」のドアノブ作品です。さらに上位7名にのみ与えられる特別賞の一つ 選考委員長特別賞を杉さんの「Flower vase lever」が受賞し、情報デザイン学科として8年連続の受賞となりました。

デザインパテントコンテストの公式サイトはこちら

<https://www.inpit.go.jp/patecon/index.html>



加藤優太さん、瀬木聖さん、松井洋樹さん(情報デザイン学科)

2023年度卒展訪問JIDA中部
ブロックデザイン賞を受賞しました!

JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会)中部ブロック次世代事業委員会が毎年実施している各デザイン系大学の卒業制作から優秀作品を選定する「2023年度卒展訪問JIDA中部ブロックデザイン賞」で情報学部 情報デザイン学科 舟橋研究室 加藤優太さん、瀬木聖さん、松井洋樹さん(3名とも2024年3月卒業)が受賞しました。



▲(左から)受賞した加藤さん、松井さん、瀬木さん

JIDAの審査員に対しプレゼンテーションを行い、最優秀賞に松井さんの「幼少期の体験に着目した測定デバイスの提案」、優秀賞に加藤さんの「日本男児が男気を身につけるブランドの提案」と瀬木さんの「トリビアを学べる製品およびパッケージデザインの研究」が選ばれました。情報デザイン学科 3Dデザイン分野の卒業制作展は、2月22日(木)～25日(日)にナディアパーク 2Fアトリウムで行われ、JIDAの審査員は25日(日)に来場しました。

JIDAのWebサイトはこちら

https://www.jida.or.jp/chubu/sotuten/sotuten_2023



林憧子さん(大学院 工学研究科 都市環境デザイン学専攻)

第25回空気調和・衛生工学会
中部支部学術研究発表会で
優秀ポスター賞を受賞!

3月14日(木)、東桜会館で、第25回空気調和・衛生工学会中部支部学術研究発表会が開催され、大学院 工学研究科 修士課程 都市環境デザイン学専攻 かおりデザインコース 1年 林憧子さんが優秀ポスター賞を受賞しました。

ポスターセッションは、前半の個別発表と後半の自由討論に区分されており、前後半合わせて4時間の発表。参加者はポスターを自由に見てまわり、発表者はポスター前に常駐し、参加者への説明や質疑応答、討論を行うというかたちのものでした。林さんは、「におい評価への温度・湿度の影響―被験者室とにおい袋内の湿度の差の影響の検討―」について発表しました。



▲林さんの発表の様子

田中駿吏さん(機械システム工学科)

新都市の林道をレーザー計測ドローンで飛行して 点群データの計測を行いました

2月7日(水)、工学部 機械システム工学科 橋口研究室 田中駿吏さん(2023年度卒業)が森山環境科学研究所の林道点検の実証実験に参加しました。東三河ドローンリバー構想推進協議会の協力の元を実施された「UAVレーザーによる林道点検の省力化」の実証実験において、新都市林道、船着山線をドローンで飛行してデータのサンプリングを行いました。

田中さんが作った「360度LidarとRaspberry Pi4を用いた点群計測システム」を搭載したドローンが飛行して、崩落箇所の計測を行いました。林道のような葉が茂った場所では、カメラを使った計測では3次元データの再現が難しいため、Lidar(レーザー距離計)を利用した計測が有効です。田中さんの研究は、林道や山道のような自然地域の調査を、低コストで実施する可能性を見せてくれました。

●今回の実証実験に参加した企業・研究所

有限会社森山環境科学研究所: 計画・立案・開発・飛行・データ分析

タケダビデオ: 飛行補助・説明・撮影

三信建材工業株式会社: 飛行補助・説明

コニカミノルタ株式会社: 受付・説明

大同大学: レーザー計測システムの開発



▲田中さんと計測システム



▲実際の崩落現場



▲実証実験の様子

石川丈琉さん、加藤巧さん、義千寛人さん、松本月渚さん、
守屋 航さん(総合情報学科)

タイ・泰日工業大学 「TNIクロスカルチャープログラム 2024」に参加しました

本学と学術交流協定を締結しているタイの泰日工業大学で開催された「TNIクロスカルチャープログラム2024」に情報学部 総合情報学科 3年 石川丈琉さん、加藤巧さん、義千寛人さん、松本月渚さん、守屋航さんが参加しました。このプログラムは選択科目「海外事情A」の一環として行われるもので、今年は3月12日(火)～21日(木)の10日間行われました。プログラムはタイ語やタイ文化の学習、寺院見学、タイ料理・芸術体験、小旅行など多彩な内容で構成されていますが、泰日工業大学の学生と交流しながら学べるのが大きな特色です。参加した学生は英語・タイ語に苦戦しながらも、積極的に泰日工業大学の学生とコミュニケーションをとっていました。このプログラムを通じて、学生は外国語学習や異文化理解の重要性を理解し、今後の学習へのモチベーション向上につながったと感じました。



▲タイ



▲タイの空港での集合写真

柳本雛多さん、山口紗葵さん(情報デザイン学科)

「僕らのポートフォリオ展」の 企画・運営に携わりました!

情報学部 情報デザイン学科 舟橋研究室 4年 柳本雛多さんと同学科 佐々木研究室 4年 山口紗葵さんが「僕らのポートフォリオ展」の企画・運営に携わりました。「僕らのポートフォリオ展」通称「僕ポ」は今年で12年目を迎える東海地区を中心としたデザイン・クリエイティブ系学生のポートフォリオ(作品集)を集めた学生有志の展覧会です。2人は会場デザインやクラウドファンディングを利用した資金調達などの幅広い業務を担当し、イベント成功に貢献しました。

僕らのポートフォリオ展のWebサイトはこちら

<https://bokuranoportfoliowixsite.com/bokupo2024>



▲山口さん(左)、柳本さん(右)



▲会場の様子

行方祐介さん(情報システム学科)、三宅正也さん、加藤颯さん(機械システム工学科)(ロボット研究部)

小型ロボット競技会“BRAVE”で大活躍しました

3月24日(日)、第32回BRAVEが開催され、ロボット研究部の情報学部 情報システム学科 4年 行方祐介さんが優勝しました。また、工学部 機械システム工学科 3年 三宅正也さんが4位入賞、同学科 4年 加藤颯さんがアイドル賞を受賞しました。BRAVEとは、凹凸のあるフィールド上で複数のロボットがバトルロワイヤル形式で戦う無線ロボット競技です。ロボットは授業やロボット研究部で学んだCADで設計を行い、ロボット工房にあるNC工作機を用いて部品レベルから製作しました。アルディーノという小型コンピュータを搭載しており、プログラムされた動作を赤外線リモコンを使って実行させることができます。本学のロボット研究部はこの大会の常連で、毎回複数名がエントリーし、これまでに数々の賞を獲得してきており、行方さんは前回の優勝者、三宅さんは前々回の優勝者です。

2人は持ち前の操作技術と優れた機体性能で順調に勝ち進んでいきましたが、そんな2人が準決勝で対戦する

ことになり、部内でも練習相手として指名し合うほどの仲の良い友人でありライバルでもある2人の対決は、ロボット研究部の部員だけでなく他大学からの参加者も大注目のベストバトルとなりました。結果は行方さんが勝利し、そのままの勢いで優勝しました。三宅さんは行方さんとの戦いで機体が損傷してしまい、4位という結果で終わりましたが、試合後2人は笑顔でお互いの健闘を称え合っていました。

アイドル賞は、大会の中で一番印象に残ったロボットに参加者による投票で決めるものです。今回、加藤さんは、多くのロボットがタイヤを使って移動することが主流とされる中、犬のように4足で歩行するロボットで参加し、競技では、前進、おすわり、お手の3種類を組み合わせで戦いましたが、そのユニークで独創的な動作に会場はおおいに沸きました。

3人以外の部員も前回より順位が上がっており、ロボット研究部全体としてもとても実りのある大会になりました。



▲優勝した行方さん



▲行方さんのロボット



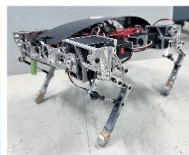
▲4位入賞の三宅さん



▲三宅さんのロボット



▲アイドル賞受賞の加藤さん



▲加藤さんの4足歩行ロボット

卒業生 インタビュー

Graduates of Daido University

名古屋大学 大学院

塩見 健太

2021年3月

情報システム学科 情報ネットワーク専攻卒業

2023年3月

情報学研究科 情報システムコース修了

2024年6月現在

名古屋大学 大学院

—— 大学院に進学しようと思ったきっかけ、経緯を教えてください。

在学当時、大学や企業、地域の方々にプログラムで協力する機会が多々ありました。その際、プログラムを使ってもっと社会貢献したいと感じ、プログラムという専門知識を伸ばすべく、進学をしました。

—— 現在行っている研究内容について教えてください。

現在は機械学習についての研究を行っています。機械学習を行うためには、学習方法を定めるハイパーパラメータを、学習精度が良くなるように設定する必要がありますが、この設定は人間が手動で決めています。このハイパーパラメータを、学習精度が良くなるように粒子群最適化法を使用して最適化を行う研究をしています。粒子群最適化法にはたくさんのアルゴリズムが提案されており、それらのアルゴリズムを様々な分類問題（数値を見て分類する問題、画像を見て分類する問題などなど）を使用して比較する実験を普段行っています。

—— 大学での学びはどのように活きていますか？

プログラミングや研究活動にはもちろん、他者と積極的にコミュニケーションを取ることも生かされています。研究は一人で進めることは難しく、他者からアドバイスを受けながら進めていくことが必要不可欠です。学会などでアドバイスを受ける機会もありますが、日常的に同じ研究室の仲間と議論を交わしながら研究を進めることが最も重要であると考えています。

—— これからの目標を教えてください。

これからの目標は、まずは博士の学位が取得できるよう、研究を第一に取り組むことです。学術的な貢献ができるよう、日々頑張っていきます。

また現在、講師としても大同大学に来ており、さらには謎解きを制作する団体のリーダーも務めています。それらの活動も引き続き積極的に行い、自身のスキルを向上させていきたいです。将来的には、研究成果を社会に還元し、次世代の教育にも貢献したいとも考えています。

—— 在学生に一言お願いします。

大学生生活はとても大変かと思いますが、授業だけでなく、時には人と関わるといことも忘れないでください。僕は自分のゲームプログラムで友達と遊んでいたところ、元学生室の堀木さんに目撃され、そこから様々な活動に関わるようになり、今に至ります。また、今の大学に進学できたのも、朝倉先生（情報システム学科）や横山先生（情報デザイン学科）のおかげです。

人には様々な才能があると思いますが、それを開花させてくれるのもまた人だと思います。人とのつながりは大切にして、いろんなことに挑戦していきましょう！

あ、僕の講義を受ける人はよろしくね。

大学 DATA

名古屋大学 大学院

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

イタリアのミラノ工科大学から留学生を迎えました

大同大学とイタリアのミラノ工科大学との包括協定に基づく交換留学により、ミラノ工科大学から大学院生のガオ フェイテンさんとガルドゥーミニニコル バンドラさんが、9月から半年間、大学院工学研究科 修士課程 建築学専攻に留学生として在籍していました。

2023年10月19日(木)、武藤理事長や渡邊学長と顔合わせを行い、ミラノ工科大学での様子や日本の生活などについて懇談を行いました。

留学生は3月まで在籍し、大学院の授業やインターンシップで建築設計などを学びました。



▲ガオ フェイテンさん(左から2番目)、ガルドゥーミニニコル バンドラさん(中央)



▲懇談の様子

大同大学奨励賞表彰式を行いました

2023年10月25日(水)、学長室で、大同大学奨励賞表彰式が執り行われました。男子ハンドボール部 1年 酒井優希さんは男子日本代表U-19選出および第10回男子ユース世界選手権出場の業績を認められ、表彰されました。酒井さんは、クロアチアで開催された19歳以下の世界一を決める大会「第10回男子ユース世界選手権」に出場しました。その大会のバーレーン戦で一番活躍した選手に送られる「Player of Match」に選出されました。なお、日本の最終順位は、32チーム中21位でした。

大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 1年 吉田拓司さんは一般社団法人日本機械学会 2023年度年次大会において優秀発表賞を受賞した業績を認められ表彰されました。日本機械学会は、会員数が3万名を超え、国内で最大規模の学会です。その講演会において発表を行うのみならず、受賞したことは多くの研究者に大同大学の大学院生が優秀な研究成果を生み出すことができるという認識してもらう良い機会となりました。



▲奨励賞の表彰式

男女ハンドボール部

函館インカレに出場しました

2023年11月4日(土)～8日(水)、北海道函館市で開催されたハンドボール全日本学生選手権に、男女ハンドボール部が出場しました。

4日(土)に行われた1回戦では、男子は筑波大学、女子は国士館大学と対戦し、試合は全試合がUNIVASでライブ配信されました。

大会結果はこちら

https://www.handball.or.jp/system/prog/game_event_schedule.php?sd=g&sc=g&ed=a&eid=307



名鉄ドローンアカデミーと連携 都市空間インフラ専攻がドローン操縦国家資格取得支援カリキュラムを開設

大同大学(愛知県名古屋市、学長:渡邊慎一)建築学部 建築学科 都市空間インフラ専攻は、名古屋鉄道株式会社が運営する名鉄ドローンアカデミーと連携し、ドローン操縦士国家資格の取得を支援するカリキュラムを開設しました。大学のカリキュラムにおいて、ドローン操縦士国家資格の取得を支援するのは国内初の取り組みです。

昨今、ドローンを活用したサービスの普及が世界的に進み、今後も更なる広がりをみせることが予想されています。特に人手不足等により業務効率化が求められる都市建設・土木分野においては、すでに測量をはじめとした調査・点検・運搬等においてドローンが活用されています。

また、建設現場だけでなく、まちづくり(防災や中山間地域の物資運搬等)においての活用も期待されることから、都市空間インフラ専攻の主たる進路(ゼネコン・建設会社・建設コンサルタント・公務員等)においてドローンを活用する機会が広がっています。

演劇同好会

南警察署の協力依頼を受け、大同高校で寸劇披露しました

2023年10月27日(金)、大同高校の体育館で、2年生の500人を超える生徒を対象とした講演「サイバー犯罪被害防止教室」が愛知県南警察署生活安全課によって実施されました。

高校生にわかりやすく伝えたいと南警察は本学の演劇同好会に協力を依頼し、コラボレーション。4つの寸劇(①フィッシング詐欺編、②スマホゲーム編、③闇バイト編、④空き巣被害編)を披露しました。

このコラボは4月に本学へ入学した女子学生対象「防犯セミナー」以来の2回目で新たな内容を加えての実演となりました。会場には中日新聞が取材に訪れ、学生たちがインタビューを受けました。



▲演劇同好会の寸劇の様子

Innovation AI LAB

南警察署主催の痴漢撲滅キャンペーンに協力・参加しました

2023年11月8日(水)7:45～8:15までの通勤・通学者が多く利用する時間帯に、大同町駅のコンコースで南警察署が主催する「痴漢撲滅キャンペーン」が実施され、本学Innovation AI LABの学生や大同高校生徒会の生徒たちおよそ20人が協力・参加しました。

学生や生徒たちはたくさんの通勤・通学者に「おはようございます、大同大学・大同高校です!」「痴漢撲滅キャンペーンを実施しています!」と笑顔で元気よく呼びかけ、チラシやパンフレット、グッズなどを手渡しました。



▲集合の様子



▲配布の様子

和太鼓同好会「咲楽」

初の単独公演を行いました

2月21日(水)、熱田文化小劇場で、本学の和太鼓同好会「咲楽」が初めての単独公演(～IDOMU～)を行いました。今回の公演では、「挑む～IDOMU～」をテーマとし、大学生だからやれる「元気・若さ・馬鹿さ」で熱く楽しい演奏をお届けしました。



当専攻では、都市を維持・発展させる技術者育成のなかで、将来の一つの武器としてドローンを活用できる人材を育成していきます。

連携内容の詳細は下記のとおりです。

※2024年4月より工学部建築学科土木・環境専攻から名称変更

(1)連携先:名鉄ドローンアカデミー

(2)連携開始時期:2024年度からの新カリキュラムより運用(授業は2025年度開始予定)

(3)連携内容:名鉄ドローンアカデミーの講師が、本学の非常勤講師として都市空間インフラ専攻の必修科目内で講義を実施。国家資格希望者は、加えて実地講習(別途費用)を受けることで国家資格取得を目指すことができる。

X4デザインvol.12を開催しました

「X4デザイン」とは、大同大学 建築学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻、情報学部 情報デザイン学科 メディアデザイン分野/3Dデザイン分野の4つの分野の学生による作品展示・イベントです。卒業制作を含む本学学生の作品およびパフォーマンスが各地で発表されました。X4DESIGNチャリ、サウンドアートチャリはメディアデザイン分野の学生がデザインしています。

X4DESIGNチャリはこちら

https://www.daido-news.jp/du_news/wp-content/uploads/2024/01/X4DESIGN.pdf

サウンドアートチャリはこちら

https://www.daido-news.jp/du_news/wp-content/uploads/2024/01/b136a835edb1733c406b205102b919b0.pdf



学習支援の取り組みが中日新聞に掲載されました



2月23日(金)発行の中日新聞名古屋朝刊で、教育開発・学習支援センターによる学生の基礎学力向上支援の取り組みが掲載されました。

同センターでは、eラーニング形式による入学前教育や、入学後の個別学習支援により、基礎学力に不安のある学生のサポートを実施しています。

大学創立60周年記念祝賀会を実施しました

4月20日(土)、大同大学の創立60周年記念祝賀会を実施しました。会には教職員ら130人が参加し、将来へのさらなる飛躍を誓いました。和太鼓部による演奏も行われ、大盛況のうちに終えることができました。



Innovation AI LAB

大同大学をドローンで空撮しました

3月14日(木)、文化系クラブInnovation AI LABのメンバーが、ドローンによる大同大学の空撮を行いました。

大同大学は「人口集中地区(DID)」であるため、ドローンの飛行には国土交通省の航空局への許可申請および承認が必要です。また、機体を目で見ることなく、カメラ映像をディスプレイで見ながら操縦する「目視外」飛行にも許可申請&承認が必要です。顧問の工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師の指導のもと、ドローン機体の登録、航空局への飛行許可申請と事前通報、地元警察署への通報などの諸手続きを学生だけで行いました。

係留措置やプロペラガードなどを搭載しないで学内を飛行させるのも今回が初めてですが、ドローン業者や教職員に頼らずに学生だけで飛行を行ったのも今回が初めてです。メンバーで手分けをして、安全確認や通行人への注意喚起を行いました。Innovation AI LABの学生たちは「今後は、ジグザグ往復飛行による連続写真撮影を実施して、大学キャンパスの3Dオルソモデルを製作し、大学の『デジタルツイン』をやってみたい」と抱負を語ってくれました。

学生が編集した動画へのリンクはこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=mkYAlfYkRkY>



▼X棟とA棟のツーショット



▼安全確認を行う学生たちの様子



Innovation AI LAB

ロボカップジュニア・ジャパンオープン2024でブラザー工業賞を受賞しました

3月22日(金)～24日(日)、ポートメッセなごやで開催された「ロボカップジュニア・ジャパンオープン2024 名古屋」のサッカーオープンリーグに文化系クラブInnovation AI LABが出場しました。

情報学部 情報システム学科 1年 齊藤巧さんと、工学部 機械システム工学科 1年 東江竜弥さんのチーム「TSUBAKI」は、同リーグでは定番のラインセンサーを使用せず、LiDAR(2次元レーザー距離計)で自己位置を推定するロボットを製作しました。これが大会初の技術であることが評価され、「ブラザー工業株式会社賞」を受賞しました。

サッカーロボットは、CNC加工機や3Dプリンタによるメカの設計・製作、電子回路基板の設計やばんだ付け作業、LiDARやカメラのデータ処理やモータ制御のプログラミングなど、機械・電気・情報の3分野の総合力が求められます。ロボカップジュニアに出場できるのは19歳以下なので、大学生は1年生しか出場できません。今後は2年生以上で上位のシニアリーグへの出場を目指し、新1年生への教育を行っていくそうです。



▲表彰の様子



▲2台で1チームのサッカー競技の様子



▲出場したサッカーロボット

大同大学奨励賞表彰式を行いました

4月25日(木)、学長室で、大同大学奨励賞表彰式が執り行われました。

工学部 機械システム工学科 2年 早川晴斗さんは昨年度にコンビニ店員のアルバイトとして接客中、高齢男性が詐欺師に騙され多額のプリペイドカードを購入しようとしているところを引き留め、警察へつなぎ、被害から守りました。1月

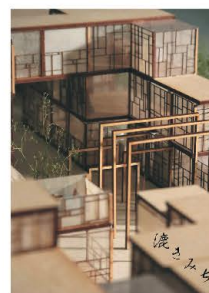


11日(木)には江南警察署より感謝状が授与されています。

早川さんの行いは大学の名誉を高める模範的な行為として認められ奨励賞の受賞となりました。

部家帆花さん(2023年度卒業 建築学科 インテリアデザイン専攻)

「CIP学生賞」に卒業設計作品が選出されました



▲部家帆花さんの作品



▲部家さんの作成したパネル

中部インテリアプランナー協会(CIP)が主催する「CIP学生賞」に工学部(2024年度より建築学部)建築学科 インテリアデザイン専攻 中島研究室 2023年度卒業生 部家帆花さんの卒業設計作品「漣さみち 一美濃和紙伝承のための工房提案」が選出されました。

CIP賞は中部インテリアプランナー協会が主催する、おもに中部地域の学生の卒業設計作品を対象としたものです。

今回のCIP学生賞受賞作品は、6月発行の「CIP情報誌」に掲載され、CIP通常定期総会の会場にて作品パネルとともに発表されました。

研究・社会連携推進センター

第23回 におい研究交流会を開催しました

2月19日(月)、大同大学で、企業、他大学等から多数の方が参加された、研究・社会連携推進センターが主催する第23回におい研究交流会を開催しました。交流会では、におい・かおり研究センターで学生が取り組んだ研究の紹介や、大同かおりコンテスト2023として、「卒業生に送る桜の香り」をテーマに建築学部建築学科 かおりデザイン専攻の学生が制作した作品の発表などを行いました。学生たちにとっては、企業等の方々を前にして発表し、様々なご意見や感想をいただいた経験を通して、新たな刺激となりました。

特別講演では、大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻の山中俊夫教授が「室内空間におけるにおい制御と香りの活用」と題して、体臭の特性と評価や様々なアロマに対する嗅覚特性などについて講演しました。その後、コロナ禍により中止していた情報交換会を実施し、かおりコンテスト表彰式や企業、大学関係者、学生との交流を行いました。



▲学生による研究発表の様子

▲大阪大学 山中俊夫教授による特別講演の様子



▲ポスターセッションの様子

▲かおりコンテスト会場の様子

▲かおりコンテスト結果発表の様子

藤井研究室(総合情報学科 経営情報コース)

羽田クロノゲートを見学しました

2023年11月4日(土)、情報学部 総合情報学科 経営情報コース 藤井ゼミナール 3年生が「羽田クロノゲート」を見学しました。藤井ゼミナールでは、2023年度は「物流の2024年問題」について研究してきました。その研究の一環として同施設を見学しました。「羽田クロノゲート」はヤマトホールディングス傘下のグループ会社が運営する日本最大級の物流ターミナルであり、同施設では最新鋭設備による荷物の仕分けや管理等を実際に見ることが出来ます。

研究の主課題はトラックドライバーの労働問題でしたが、その背景にある日本の物流業界の特徴や物流システムの全体像を知る良い機会となりました。ここで得た知見を参考に研究を進めていきたいと思っています。

▶見学会の参加者



喜田研究室(情報システム学科)

FM愛知「中電シーティーアイ Welcome Generation」に出演しました

毎週木曜日20:30からFM愛知で放送されている「中電シーティーアイ Welcome Generation」に情報学部 情報システム学科 喜田研究室が出演しました。この番組は、中部エリアの大学などで情報や工学の分野を中心に研究を行い、様々な事にチャレンジしている次世代リーダー達のインタビューを発信するものです。取材では大学での研究・学びや大学生活などについて語りました。

番組HPはこちら

<https://fma.co.jp/prg/welcomegeneration/>



中村裕哲准教授(総合情報学科)

国際ビジネス研究学会 第30回年次大会(全国大会)で研究報告しました



▲研究報告する中村准教授

2023年10月21日(土)、22日(日)、東京の法政大学市ヶ谷キャンパスで開催された「国際ビジネス研究学会(JAIBS)第30回年次大会」で、情報学部 総合情報学科 中村裕哲准教授が登壇、研究報告をしました。国際ビジネス研究学会(JAIBS)は、国際ビジネスの研究に関心を有する者が広く共同して、国際ビジネスの諸問題を学際的な視点から総合的に研究し、併せて国際社会の発展に寄与することをその目的として、1994年に設立されました。

今回の統一論題は、「ソーシャル・イノベーションの展望—社会課題解決のフロンティア—」で、初日は6本の講演及び報告があり、2日目は自由論題で、4会場で中村准教授の報告を含む23本の報告がありました。中村准教授は、「コロナ禍におけるクロスボーダー M&Aと国際戦略提携の動向」と題して研究報告を行いました。

この報告は、コロナ禍と呼ばれた2020年から2022年までの3年間を対象に、外国市場参入戦略の動向について、クロスボーダー M&Aと国際戦略提携の事例に対し、テキストマイニングを用いて分析したものです。コロナ禍でM&Aや提携の件数は減少しましたが、例えば日立は、この機に参入戦略の統合的なマネジメントを行い、事業再編を進めたことがわかりました。また、自動車や医薬、AIなどの分野で新たな提携が生まれたことを示しました。

当日のプログラムはこちら

https://www.ibi-japan.co.jp/jaibs/html/convention/2023_hosei_univ/2023_convension_program.pdf



南生涯学習センター主催による「大同大学連携講座」の講師を務めました

2023年11月より南生涯学習センターで、「五感でつくる安全で快適なまち・すまいの環境」をテーマに大同大学連携講座が4回開催されました。

各講座は下記の通りです。

■第一回 11月2日(木)

建築学部 建築専攻 建築専攻/インテリアデザイン専攻 岡本洋輔准教授
「光が支える快適で健康な暮らし」

■第二回 11月9日(木)

情報学部 情報システム学科 柘植覚教授
「五感でつくる安全で快適なまち・すまいの環境」

■第三回 11月16日(木)

建築学部 建築学科 かおりデザイン専攻 光田恵教授
「まち・すまいのにおい〜悪臭対策と香りの活用〜」

■第四回 11月30日(木)

建築学部 建築学科 都市空間インフラ専攻 樋口恵一准教授
「『安全・安心にまちで暮らす』を考える」



▲講演する岡本准教授

宮寄靖大准教授(建築学科 都市空間インフラ専攻)

令和5年度「橋梁技術発表会 及び講演会(中部地区)」にて 特別講演を行いました

2023年11月10日(金)、名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)で一般社団法人日本橋梁建設協会が主催、公益社団法人土木学会中部支部が共催した令和5年度「橋梁技術発表会及び講演会(中部地区)」が開催されました。この講演会で建築学部 建築学科 都市空間インフラ専攻 宮寄靖大准教授が「高耐久性鋼橋の実現に向けて」というテーマについて特別講演を行いました。

この講演の概要は、以下の通りです。

一般的な鋼橋の塗装の塗替え作業は、橋梁部材または部位によって煩雑となる。一方、無塗装耐候性鋼材を用いることにより、これらの維持管理が軽減されるものの、飛来塩分量などにより架設可能な地域が限定されることも否めない。ステンレス鋼は、炭素鋼に比べて優れた耐食性を有しており、橋梁に用いることで、長期間供用における維持管理を削減することができる。本講演では、ステンレス鋼製部材の活用について紹介する。

高田健教授(機械工学科)

国際学会にて研究発表を行いました

2023年12月1日(金)～3日(日)、名古屋大学 未来材料・システム研究所主催の国際会議(International Conference on Materials and Systems for Sustainability; ICMaSS2023)が大同大学で開催されました。同研究所の超高压電子顕微鏡施設の利用者によるセッションの以下タイトルで工学部機械工学科 高田健教授が発表を行いました。

Characterization of dislocation behavior using machine-learning analysis of TEM images

この発表内容は数年に渡り本研究室が超高压電子顕微鏡にて得られた結果、およびそれを大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 中嶋洋介さんが機械学習解析した結果の報告になります。なお、超高压電子顕微鏡施設長である武藤俊介教授(この学会のChair of the Executive Committee)の研究室と本研究室とは共同研究を進めており、その成果の一部が名古屋大学から下記タイトルで発表されました。

Precipitation behavior in an A-Mg-Si alloys during low temperature aging by STEM and DSC analysis

この発表では高田教授に加えて大学院 工学研究科 修士課程 機械工学専攻 2022年度修了生 佐野大和さんが連名となっています。

名古屋大学 未来材料・システム研究所主催の国際会議
(International Conference on Materials and
Systems for Sustainability; ICMaSS2023)の
詳細はこちら

<https://www.icmass.imass.nagoya-u.ac.jp/2023/>



橋口宏衛講師(機械システム工学科)

情報誌『名古屋港』にドローンについての 記事(第4・5・6回)が掲載されました

2023年5月20日(土)発行の情報誌『名古屋港』で、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師による「ドローンの飛び交う世界を目指して」の記事の連載がスタートしました。情報誌『名古屋港』は国際貿易港として成長著しい名古屋港の魅力を伝えるために、名古屋港利用促進協議会によって発行されており、橋口講師の連載は全6回を予定しています。

2023年11月20日(月)発行の第4回の記事では「ドローンのプロは何のプロ?③」と題して、ドローンを飛行させるために必要な申請手続きや、関係各所への根回しについて解説しています。1月20日(土)発行の第5回の記事では「ドローンの心臓部、フライトコントローラー」と題して、ドローンの部品の中でも、最も重要な装置である、フライトコントローラーについて、その仕組みや種類について幅広く解説しています。3月20日(水)発行の第6回の記事では「ドローンの操縦装置」と題して、ドローンを操縦するためのコントローラー(送信機)について、その種類や操作方法、今後の展望について幅広く解説しています。

名古屋港利用促進協議会のHPはこちら

<https://www.nagoyaportpromotion.jp/index.html>



橋口宏衛講師(機械システム工学科)

あいちモビリティイノベーション プロジェクト第2回PT会合に出席

2月5日(月)、愛知県庁で、あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」第2回PT会合が開催され、工学部 機械システム工学科 橋口宏衛講師がアドバイザーボードの一員として参加しました。

このプロジェクトは、ドローンや空飛ぶ車、自動運転を研究・開発している企業が集い、2030年までの社会実装を目指すもので、テレビ愛知のYouTubeチャンネルにも掲載されています。

荻野正雄教授(情報システム学科)

日本計算工学会「会員の研究活動」に 研究紹介動画が掲載されました

一般社団法人 日本計算工学会のHPにおける「会員の研究活動」に、情報学部 情報システム学科 荻野正雄教授の研究活動内容を紹介する動画「計算機シミュレーションを高度化するHPC技術」が掲載されました。中高生対象のプログラミングに関する情報教育の向上や充実を図るために、研究活動内容を分かりやすく説明する動画コンテンツとして提供したものです。



日本計算工学会の
HPはこちら
<https://www.jsces.org/>



荻野先生の動画は
こちら
<https://www.jsces.org/m-activity/>

新刊 紹介 「トコトンやさしい香料の本」

光田恵教授、一ノ瀬昇客員教授、跡部昌彦客員教授、
長谷博子非常勤講師(建築学科 かおりデザイン専攻)

建築学部 建築学科 かおりデザイン専攻 光田恵教授、一ノ瀬昇客員教授、跡部昌彦客員教授、長谷博子非常勤講師が執筆した書籍「トコトンやさしい香料の本」が日刊工業新聞社より発行されました。

香料には、植物や動物の一部から抽出された天然香料と化学的に合成された合成香料があり、その用途は食品、化粧品、芳香剤など多岐にわたります。本書では、香りの歴史、成分、抽出方法、香りの設計、用途など、香料の基本についてやさしく解説しています。

著者：光田恵(編著)、
一ノ瀬昇、跡部昌彦、長谷博子(著)
出版社：日刊工業新聞社
発行日：2023年9月29日 160ページ
ISBN:9784526082955 定価：1,980円(税込)

日刊工業新聞社のHP
本の紹介ページはこちら
<https://pub.nikkan.co.jp/book/b10033819.html>



服部佳晋教授(電気電子工学科)

窒化物半導体の国際会議
(ICNS14)で発表しました

14th International Conference on Nitride Semiconductors (ICNS-14)が開催され、工学部 電気電子工学科 服部佳晋教授がGaN(窒化ガリウム)

パワー半導体に関する2件のポスター発表を行いました。発表タイトルは、(1)「Comparison of switching characteristics of 650V GaN power device and SiC/Si power devices」と(2)「Topology Optimization of Junction Termination Extension in Vertical Gan Power Device」です。(1)は名古屋大学との共同研究、(2)は関西学院大学との共同研究の成果です。



▲ポスター発表する服部教授

森長誠講師(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

日本音響学会
学会活動貢献賞を受賞しました

▲受賞した森長講師

3月7日(木)、拓殖大学で開催された日本音響学会2024春季研究発表会で、建築学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 森長誠講師が2023年度の学会活動貢献賞を受賞しました。

この賞は、委員会活動等の学会活動において、その運営に尽力し、学会の活性化に多大な貢献を行った会員を対象として贈呈されるものです。

中島貴光教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

大府市 大学等連携講座
「おおぶアカデミー」の講師を務めました

3月2日(土)、本学で、大府市の大学等連携講座「おおぶアカデミー」として、「レーザー加工で小さな照明器具を作ろう」をテーマに、ものづくり体験講座を開催しました。講座では、Adobe Illustratorを用いて照明器具のシェードをデザインし、作成したデータからレーザー加工機にて木材加工を行い、小さな行燈を製作しました。参加者からは、「不慣れなパソコン操作を丁寧に教えて頂き、素晴らしい作品が出来上がった。」「レーザー加工の過程を実際に体験しながら学べたことが良かった。」などの声が寄せられました。



▲完成した照明器具



▲講座で説明する中島教授



▲デザイン制作の様子



▲木材加工の様子

山田靖教授(電気電子工学科)

エレクトロニクス実装学会で
依頼講演を行いました

3月13日(水)、東京理科大学で、第38回エレクトロニクス実装学会春季講演大会が開催され、工学部 電気電子工学科 山田靖教授が依頼講演を行いました。

山田教授が講演したのは、「パワー半導体実装用接合技術と高温動作モジュール」で、前半では金属焼結材料を用いた接合技術の基礎物性値の取得について、後半ではそれを用いた高温用モジュールの構造や信頼性について解説しました。

中島貴光教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

「世界劇場会議国際フォーラム
2024 in長久手」の
副実行委員長を務めました

2月28日(水)、29日(木)、世界劇場会議国際フォーラム2024 in 長久手が長久手市文化の家で開催され、建築学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 中島貴光教授が副実行委員長を務めました。このフォーラムは「劇場100年時代は来るのか～ハードとソフトの相関関係～」と題し、人生100年時代と言われる昨今、公共劇場は100年持続する劇場を目指すべきなのか、100年生きる人々に心のオアシスとしてあり続けるべきなのか、ユニークな活動を続けて25周年を迎える長久手市文化の家の活動をハードとソフトの観点から徹底的に検証したうえで、他都市の事例を通して考え、実践者、研究者などが、今後の劇場のあり方を語り合うことを目的に開催されました。文化の家を中心として、これからの劇場のソフトとハード、それぞれのあり方について様々な視点より活発な議論を行い、盛況のうちに幕を閉じました。



▲フォーラムの様子

嶋田喜昭教授(建築学科 都市空間インフラ専攻)

「持続可能な都市の実現に向けた
デジタルツインセミナー」において
特別講演を行いました

3月15日(金)、豊田市と株式会社フォーラムエイトの連携協定締結1周年記念として「持続可能な都市の実現に向けたデジタルツインセミナー」が開催され、建築学部 建築学科 都市空間インフラ専攻 嶋田喜昭教授が「都市のデジタルツイン構築におけるVRの有用性」と題して特別講演を行いました。建設DXにおけるデジタルツインの活用と、それを実現するためのツールの1つであるVR(UC-win/Road)の有用性を示すとともに、VRを用いた都市空間整備評価に関する研究事例について紹介しました。

セミナーのWebサイトはこちら

<https://www.forum8.co.jp/forum8/seminar/240315.html>

横山弥生教授(情報デザイン学科)

NYで個展を開催しました

情報学部 情報デザイン学科 横山弥生教授のデジタル作品の個展「DAYDREAM」が3月5日(火)～9日(土)までNYのギャラリーマックスで開催されました。また、第二弾として4月4日(木)～5月13日(月)までNYのインターナショナルセンターで異なる作品の個展「INNOCENCE」が行われていました。インターナショナルセンターは金融街にあり、世界中の人が多く集まる場です。両個展とも日系の新聞に取り上げられ話題となりました。



▲BOSSA NOVAシリーズの一部



▲個展会場全体

横山弥生教授(情報デザイン学科)

パリで作品の展示が行われました

情報学部 情報デザイン学科 横山弥生教授のデジタル作品が毎年パリで開催される2つの展覧会で入選し、展示されました。

1つ目が、1月17日(水)～21日(日)、ラ・ヴィレット・グランド・ホールで開催された、サロン・ドートヌ協会が主催する「第120回サロン・ドートヌ2023/24」、2つ目が、2月13日(火)～18日(日)、グラン・パレ・エフェメールで開催された、フランス芸術家協会が主催する「第234回ル・サロン2024」で、この2つの展覧会はフランスの歴史ある国際公募展による展覧会です。

さらに3月28日(木)～31日(日)、同じくパリのバスチユ・デザイン・センターで開催された「第37回パリ国際サロン」にも作品が展示され、そのスペシャル展として開催に先駆け、パリの老舗のギャラリーがセレクトした日本人作家としても作品展示を果たしました。



▲第120回サロン・ドートヌ 2023/24 入選作品



▲第234回ル・サロン2024 入選作品

米澤隆准教授(建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻)

CBCテレビ「チャント!」の取材を受け出演しました

建築学部 建築学科 建築専攻/インテリアデザイン専攻 米澤隆准教授が、CBCテレビ「チャント!」の取材を受け、コメントした様子が、4月19日(金)に放送されました。米澤准教授は2025年に開催される大阪・関西万博の会場内のトイレの設計を手がけています。便器は60あり、奥行き13メートル、幅40メートルの敷地に約20の部屋を組み立てる会場内最大規模のトイレです。万博閉幕後を見据え、分解して再利用しやすいデザインになっています。建設費は撤去費込みで約2億円とのことですが、SNSなどでは「高すぎる2億円トイレ」と批判を受けることになりました。

批判に対して政府や大阪府は「大規模トイレのため、平米単価にすると一般の公共施設のトイレと大きく変わらず高額ではない」としています。米澤准教授も放送の中で「移設・転用をメインコンセプトに据えて設計しており、開催期間の半年だけのための建築ではない」と説明しました。またこのトイレは未来の社会にメッセージを発したり新たな建築のあり方にチャレンジすることによって金額を投じていると認識を示しました。

番組HPはこちら

<https://hicbc.com/tv/chant/>


コラム

私の音楽遍歴

私は音楽が大好きで、これまで色々なジャンルの音楽を聴いてきました。私の音楽のターニングポイントは、私が高校生の時でした。当時、大学生だった2歳上の兄がアルバイトをしていた「Dance Hall」というディスコの営業中の音楽を録音したカセット・テープをもらったのです。90分間、途切れることなく曲が繋がっていたのです。当時流行っていた知った曲もあったのですが、ビートが合った状態で次の曲へと連続していたのです。不思議で、何度も繰り返し聴きました。その疑問が解けたのは、受験で名古屋にやってきたときです。兄に誘われて、兄のアルバイト先に行ったとき、フロアの奥にDJブースを見つけて、目が釘付けになりました。この機材で曲と曲を繋いでいるんだ! スクラッチも初めて目撃し、衝撃を受けました。

名古屋での大学生活が始まり、アルバイトをすることにしました。「Dance Hall」での刺激があまりにも強くて、私もディスコでアルバイトをすることにしました。そしてたまたま面接に行ったお店が、「Dance Hall」の姉妹店の「School」でした。ちなみに、両店ともインテリア・デザインは建築家 高松伸の設計です。アルバイト先でDJのMさんと知り合い、DJの基礎を教えてくださいと共にあらゆるジャンル

の音楽について教えていただき、レコードを買い集めました。学生時代に集めたレコードは500枚ぐらいになると思います。今でも私の宝物です。

そして、アルバイト代を貯めて、ついに念願のターンテーブル(Technics SL-1200 MK2)2台とミキサー(Vesta Kozo DSM-310)を手に入れました。DJ機材をアパートにセットアップし、最初に繋いだ曲を今でも覚えています。The Clashの「London Calling」からPILの「This is not a love song」です。もっとビートのはっきりした曲にすれば良かったのに、なぜ панк音楽をつなごうとしたのか自分でも分かりません。この頃から私は、BGMを選曲することが趣味になり、単純にフェイドイン・フェイドアウトで繋いだテープを作り友達にプレゼントしていました。



▲大学院生の頃の選曲リスト

「School」が閉店して、パーティーを専門に行う「ID Hall」というお店に異動しました。私はそこで、音響・照明を担当させていただきました。パーティーで最も多かったのは結婚式の2次会ですが、クリスマスパーティーもあれば、ファッションショーもあり

ました。毎回、パーティーの目的、人数、客層が異なり、それに応じてBGMも変える必要があり、とてもやり甲斐を感じていました。お客様の中にはBGMを私に一任してくださる方もいらっしゃいましたが、このタイミングではこの曲、このタイミングではこれ、というように曲を指定されることも多く、仕事を通じてさらに多種多様な音楽を知ることができました。

今でも音楽は大好きで、Spotifyで選曲を楽しんでいます。好きなジャンルはさらに広がり、最近ではアンビエント音楽やケルト音楽をよく聴いています。



▲学生時代に集めたレコード



▲学生時代の渡邊学長(右)とDJのMさん

渡邊 慎一 学長 55歳

1991年3月	名古屋工業大学 社会開発工学科 卒業
1999年3月	「こたつ」の研究で 博士(工学)取得
2000年10月	大同大学に講師として着任
2023年4月	大同大学 学長就任

新任教員紹介

内海 能亜 教授 工学部 機械システム工学科



私は材料加工に関する研究に従事しています。この分野に携わってもう35年になります。企業3社、大学3学を渡り歩いたごりごりの技術屋ですが、私はいつも迷いを感じ、時が過ぎていきました。自身の直感を頼りに新たな発見や可能性が生まれること信じ、皆様と協力し、学生の成長と本学の発展に貢献できるよう努力したいと思います。

近藤 恵美 教授 建築学部 建築学科



かおりデザイン専攻に着任しました近藤です。専門は温熱環境工学で人体の生理心理反応を研究してきました。生体心理反応へのかおりの効果を、学生たちと共に探求していきたくと考えています。語り合える学生たちと出会うことを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

松井 かおり 教授 教養部



外国語教室に着任した松井です。会社員時代に働いた名古屋に17年ぶりに戻ることができて嬉しです。英語は嫌いな方も多く教料だと思いますが、得手不得手に関わらず、外国語を学ぶことが好きになってもらえるよう、工夫して授業をつつていきたいです。よろしくお願いいたします。

吹田 和嗣 教授 工学部 機械システム工学科



4月1日に着任いたしました。前職はトヨタ自動車、川崎重工でロボティクスを基軸としたものづくり、産業応用と定着活動をしてきました。企業人から教員へと自分を変えて、これから皆さんと未来を築いていくことを考えていきます。よろしくお願いいたします。

山崎 一徳 准教授 情報学部 情報システム学科



学生時代より、医療現場や教育現場のニーズに応えるための共同研究に取り組んでいます。研究活動を通して自身の工学の知識や技術の不足を感じることもあり、成長したいと考えています。皆様と協力して本学の発展に寄与していきたくと考えておりますので、お力添えいただけますようお願い申し上げます。

川澄 誠 准教授 教養部



これまで、高校での授業・部活動、授業研究、教員研修等に携わってきました。高校野球・プロ野球が好きで、テレビや球場で観戦して息抜きをしています。在学生の皆さんの学園生活が有意義になるように、お手伝いをしていきます。よろしくお願いいたします。

小島 崇 教授 工学部 電気電子工学科



民間研究機関にてハイブリッド車の、特にパワーエレクトロニクス関連の研究、開発に29年携わってきました。電気や電波の面白さ、モノづくりの楽しさ、企業での仕事の進め方の経験などを伝え、人材育成と研究を進めていきたいと思ひます。

押山 晶子 准教授 情報学部 情報デザイン学科



本年度より情報デザイン学科に着任いたしました押山です。主にコンピュータを使って作曲をしています。ポップスの楽曲のオーケストラアレンジをするのも大好きです。皆さんと一緒に、作品を制作し研究をしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

長谷川 翔一 講師 教養部



教養部数学教室に着任致しました。半線形楕円型方程式と呼ばれる偏微分方程式の解の性質に関する解析を専門としております。数学の講義やFYSを担当致します。名古屋は初めて来たので、色々新鮮です。見所や美味しい食べ物等、教えて戴けますと幸いです。宜しくお願い致します。

人事

●退任(2024.3.31)

山本 忠幸 (大同大学大同高等学校 教員)

●就任(2024.4.1)

小川 義雄 (大同大学大同高等学校 教員)

●退職

【法本部・大学】

小森 和武 (工学部 機械システム工学科 教授)

溝口 正信 (工学部 機械システム工学科 教授)

上田 浩次 (情報学部 情報システム学科 教授)

小高 直樹 (情報学部 情報デザイン学科 教授)

小澤 茂樹 (情報学部 総合情報学科 教授)

成田 淳一郎 (教養部 教授)

松井 豊次 (教養部 教授)

加藤 聡一 (教養部 教授)

棚村 壽三 (工学部 建築学科 准教授)

徳納 一成 (工学部 機械工学科 特任教員)

堀内 将人 (工学部 建築学科 特任教員)

大東 憲二 (情報学部 総合情報学科 特任教員)

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

併任 工学部 建築学科 特任教員

《教育職員》(任期:2024.4.1~2025.3.31)

坂倉 守昭 (工学部 機械システム工学科 特任教員)

小森 和武 (工学部 機械システム工学科 特任教員)

溝口 正信 (工学部 機械システム工学科 特任教員)

上田 浩次 (情報学部 情報システム学科 特任教員)

杉本 幸雄 (情報学部 情報デザイン学科 特任教員)

小高 直樹 (情報学部 情報デザイン学科 特任教員)

服部 文彦 (教養部 特任教員)

成田 淳一郎 (教養部 特任教員)

松井 豊次 (教養部 特任教員)

《事務職員》(2024.4.1)

可児 真平 (法本部 大学事務部 学生室)

《嘱託職員》(2024.4.1)

河部 圭佑 (建築学部 建築学科 併任 工学部 建築学科)

岸上 奈美江 (建築学部 建築学科 併任 工学部 建築学科)

渡邊 一哉 (情報学部 情報システム学科)

伊賀 文香 (情報学部 情報デザイン学科)

松下 智子 (法本部 大学事務部 入試・広報室)

●昇任

【法本部・大学】

【教育職員】(2024.4.1)

坪井 涼 (工学部 機械工学科 教授)

田中 淑晴 (工学部 機械システム工学科 教授)

吉田 昌史 (建築学部 建築学科 教授)

高柳 伸一 (工学部 建築学科 教授)

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

高柳 伸一 (工学部 建築学科 教授)

併任 工学部 建築学科 教授

中島 貴光 (建築学部 建築学科 教授)

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

併任 工学部 建築学科 教授

堀本 俊宏 (法本部 大学事務部 教務室)

吉川 綾美 (法本部 大学事務部 入試・広報室)

【高校】(2024.6.1)

肥田 聡 (法本部 総務部 高校事務室長)

片岡 智幸 (法本部 総務部 高校事務室 主任部員)

《嘱託職員》(2024.4.1)

山下 泰弘 (建築学部 建築学科 併任 工学部 建築学科)

嶋崎 水次 (建築学部 建築学科 併任 工学部 建築学科)

本間 邦夫 (建築学部 建築学科 併任 工学部 建築学科)

●委嘱

【法本部・大学】

【役職】

(任期:2024.4.1~2025.3.31)

高村 誠一 学長付

(任期:2024.4.1~2025.9.30)

渡邊 慎一 建築学部長

中島 貴光 建築学部 建築学科 学科学長

堀本 俊宏 建築学部 建築学科 都市空間インフラ専攻専任主任

光田 恵 建築学部 建築学科 かつデザイン専攻専任主任

(任期:2024.5.1~2026.4.30)

井原 慎貴 入試部長

宮島 千代美 入試部次長

坪井 涼 入試部次長

舟橋 慶祐 入試部次長

《客員教授》(任期:2024.4.1~2025.3.31)

跡部 昌彦

一ノ瀬 昇

栗本 晃

長谷川 明子

《客員准教授》(任期:2024.4.1~2025.3.31)

三浦 均

《大学院客員教授》(任期:2024.4.1~2029.3.31)

高橋 誠治

●称号授与

【大学】

《名誉教授》(2024.4.1)

徳納 一成 (元工学部機械システム工学科 教授)

小森 和武 (元工学部機械システム工学科 教授)

溝口 正信 (元工学部機械システム工学科 教授)

上田 浩次 (元情報学部 情報システム学科 教授)

小高 直樹 (元情報学部 情報デザイン学科 教授)

成田 淳一郎 (元教養部 教授)

松井 豊次 (元教養部 教授)

「DAIDO CAMPUS」の表紙を情報デザイン学科 3年生の 河村真生さんがデザインしました

「変化・未来」をテーマに表紙のデザインを作成しました。誰しもが一度は作ったことのある「紙飛行機」を